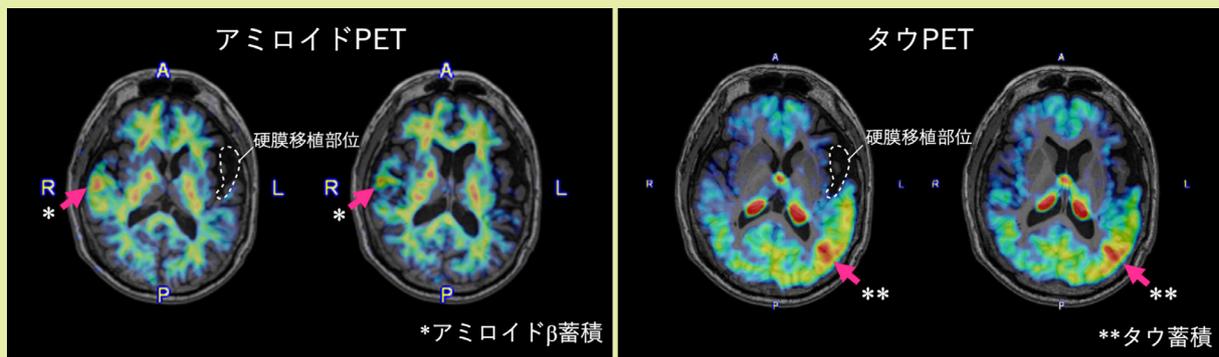


新潟大学脳研究所年報

2024



硬膜移植後にアミロイド血管症を発症した1例

アミロイドβとタウは脳内で異なる分布を呈しており、それぞれの異常タンパク質で伝播のメカニズムに違いがあることが示唆された。

目次

1. 組織図・研究所のデータ	1
2. 各分野の研究活動	4
○ 腫瘍病態学分野	5
○ 細胞病態学分野	7
○ システム脳病態学分野	8
○ 病理学分野 / 脳疾患標本資源解析学分野	12
○ 分子病態学（客員）分野	18
○ 脳神経外科学分野	20
○ 脳神経内科学分野	25
○ 統合脳機能研究センター	30
○ 遺伝子機能解析学分野	34
○ 動物資源開発研究分野	39
○ モデル動物開発分野	41
○ 分子神経疾患資源解析学分野	44
○ 脳病態解析分野	46
○ 脳神経疾患先端治療研究部門	49
3. 社会との連携	53
4. 共同利用・共同研究拠点	68
共同利用・共同研究採択者一覧	69
<報告書>	
プロジェクト型共同研究（採択者一覧順）	
○ 精神疾患死後脳の多階層解析 東北大学災害科学国際研究所 國井 泰人	
○ 逆向現象（postdiction）の脳内メカニズムの研究 京都大学ヒト行動進化研究センター 勝山 成美	

- 新規アルツハイマー病病理モデルマウスを用いた A β 蓄積依存的変動遺伝子の網羅的解析
国立精神・神経医療研究センター 橋本 唯史
- 内因性カンナビノイド 2-AG による歯状回顆粒細胞を介した記憶制御機構の解明
東京大学 菅谷 佑樹
- 神経膠腫におけるがん代謝を標的とした治療法の開発
藤田医科大学 大場 茂生
- 血中糖タンパク質の由来臓器同定方法の確立
関西医科大学 赤間 智也
- 絶対音感の神経基盤の解明
福島県立医科大学 松田 将門
- ポリプロテインパチーとしてのグアム島のパーキンソン認知症と ALS : タウ、TDP-43、アルファシヌクレイン、ユビキチンの蓄積様態と神経細胞脱落メカニズム
信州大学 小柳 清光
- 線条体投射神経細胞特異的 Tsc1 遺伝子ノックアウトマウスの遺伝子発現解析
岡山大学 宮崎 晴子
- ヒト手術検体を用いたてんかん原性機序の病態生理学的解明
公立小松大学 北浦 弘樹
- シヌクレインパチー脳におけるエクソソーム関連タンパク質の関与
弘前大学大学院医学研究科 三木 康生
- 統合的マルチオミクス解析による神経筋変性疾患の病態解明
国立精神・神経医療研究センター 間野 達雄
- 認知症病態における髄液クリアランス異常と脳エネルギー代謝の関連 : アストロサイト機能イメージングによる評価
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高堂 裕平
- 中枢神経系悪性リンパ腫に対する体細胞超変異異常を標的とした治療法の創出
横浜市立大学大学院医学研究科 立石 健祐
- CANVAS 病態解明を目指した RFC1 ノックアウトマウスの開発
公立大学法人横浜市立大学 土井 宏
- 自己開始運動の発生に影響する要因および神経基盤の解明
中京大学 酒多 穂波
- グリアリンパ系の機能促進がタウのクリアランスと蓄積に与える影響の解明
東京大学 山田 薫
- ALS モデルマウスを用いた揮発性薬剤の解析
群馬大学 鳥居 征司
- Alzheimer 病とその合併疾患に関する臨床病理学的研究
聖マリア病院 杉田 保雄
- ドーパミン生合成遺伝子の改変によるジストニア・パーキンソニズム発症機構の解析

東京工業大学 一瀬 宏

- 新生仔期の脳皮質神経回路発達メカニズム
国立遺伝学研究所 岩里 琢治
- 慢性疼痛薬開発に向けた中枢神経系での分子機能解析
関西医科大学 片野 泰代
- 脳腫瘍における SLFN11 の機能解析
愛媛大学 村井 純子
- ドーパミン神経回路の細胞質-核間輸送制御機構の解明
北里大学 板倉 誠
- Duchenne 型筋ジストロフィー脳病態に及ぼす AQP4 の影響
国立精神・神経医療研究センター 芦田 雪
- α シヌクレイン蓄積に対する TGN-073 の効果の検討
京都府立医科大学 石田 和久
- 日本人における SNAP (suspected non-alzheimer pathology) の認知症感受性遺伝子・バリエーション解析
医療法人さわらび会 福祉村病院 金田 大太
- 全脳 3D イメージングによる統合失調症モデル動物のコネクトーム解析 2
和歌山県立医科大学 那波 宏之
- 大規模ゲノムオミクス解析を基盤とした認知症研究
国立長寿医療研究センター 尾崎 浩一
- 体内時計を制御するオーファン G 蛋白質受容体 Gpr176 のマルチリン酸化修飾を介した睡眠覚醒制御の解明
京都大学大学院 土居 雅夫
- 認知症性疾患の診断における血液バイオマーカーの有用性の検討
東京医科大学 稲川 翔也
- 脳組織透明化・3D イメージングによる ATTR 型脳アミロイド血管症の病理組織学的研究
国立大学法人信州大学 佐藤 充人
- 衝突リボソーム解消機構と神経変性疾患における機能解析
東京大学 稲田 利文
- 精神神経疾患の死後脳研究
徳島大学大学院医歯薬学研究部 沼田 周助
- 運動誘発性の脳内遺伝子による老化神経の回路修復の促進
熊本保健科学大学 田中 貴士
- 日本人由来ヒトアルツハイマーアミロイドを対象とした NMR 研究
東京工業大学 石井 佳誉
- 血漿と老人斑に存在する A β の関係性の解析
同志社大学 角田 伸人

- 神経変性疾患関連遺伝子群の同定および解析
東京大学大学院 堀 由起子
- 大脳基底核神経活動へのドーパミンの作用
大阪大学 小山内 実
- 接合子の体外操作を必要としない高効率ノックインマウス作製法の開発
国立遺伝学研究所 米原 圭祐

資源利用型共同研究（採択者一覧順）

- 神経変性疾患の PET イメージングの開発
国立長寿医療研究センター 木村 泰之
- 神経・筋疾患の動物モデル化による病態の解析
国立精神・神経医療研究センター 今村 道博
- 神経組織特異的 Scrapper ノックアウトマウスの作出と学習行動に関する解析
関西学院大学 矢尾 育子
- 遺伝性白質脳症におけるミクログリアの役割解明
京都大学 濱谷 美緒
- MRI による拡散時間依存信号におけるアクアポリン機能動態の定量
東京都立大学 畑 純一
- ロングリードシーケンスを用いた脳部位特異的に発現するアイソフォームの探索
国立国際医療研究センター 嶋多 美穂子
- Pin 1 遺伝子欠損マウスとヒト神経変性疾患の病理的相関性の検討
東京薬科大学 大滝 博和
- 脳疾患モデルマウスの生殖工学技術を用いた系統保存・生産システムの開発
公益財団法人 実験動物中央研究所 後藤 元人
- 筋強直性ジストロフィーにおける全身症状の病態解明
山口大学 中森 雅之
- TDP-43 の非必須領域 GaroS2 の機能解明
北里大学 佐藤 俊哉
- 脳疾患研究に有用なマウス遺伝資源の整備および利活用の促進研究
理化学研究所 吉木 淳

国際共同研究（採択者一覧順）

- Bromodomain inhibitor as a novel radiosensitizer for diffuse midline glioma
びまん性正中グリオーマにおける新規放射線増感剤としての Bromodomain inhibitor の
検討
アラバマ大学バーミンハム校 Rintaro Hashizume
- Sexual Dimorphism in the Serotonergic System
セロトニン機構における性的二型性

マサチューセッツ州立大学・チャン・メディカルスクール Kensuke Futai

- Clinicopathological study of patients with autopsy-proven Parkinson's disease
パーキンソン病の臨床病理学的多様性に関する研究
一部検脳における病変の広がりとは症状との関連性について
仁済大学校 釜山白病院 Eun Joo Chung
- Non-inclusion α -synuclein co-pathology in neurodegenerative diseases
神経変性疾患における非封入体性 α -シヌクレインの共病理について
オーフス大学 Nanna Møller Jensen
- Unraveling the Genetic Basis of Neurodegenerative Diseases in South Sulawesi
南スラウェシにおける神経変性疾患の遺伝的基盤を解明する
ハサヌディン大学 Muhammad Akbar